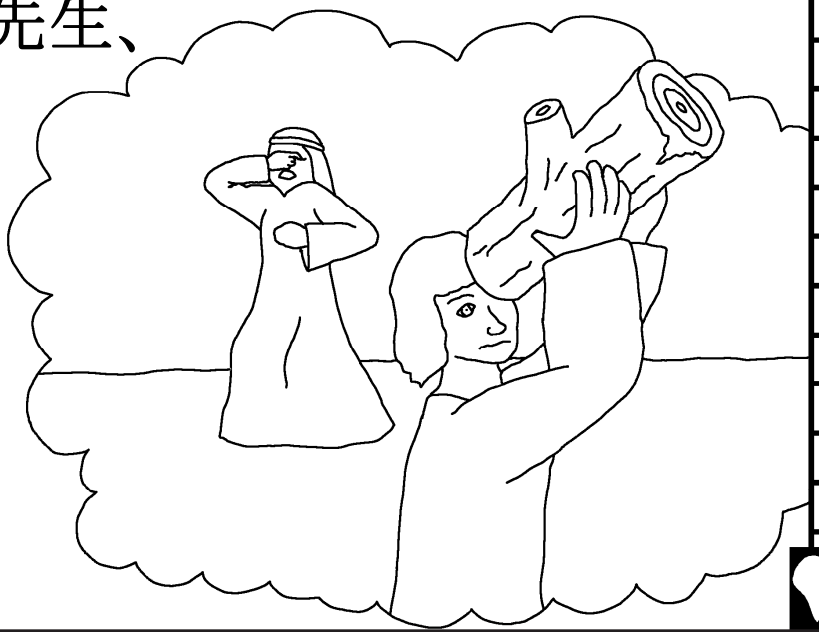
子供のインターネットバイブル

案内いたします

すばらしい先生、イエスさま



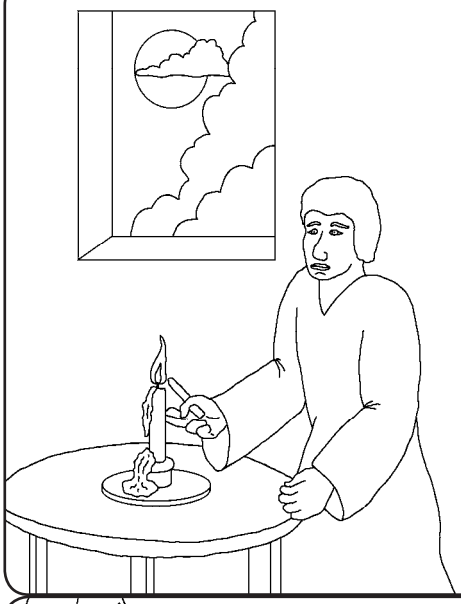
文: E. Duncan Hughes
絵: Byron Unger; Lazarus; Alastair P.
改作者: E. Frischbutter; Sarah S.
翻訳者: Yuko Kajiki
監修者: Dan Ellrick

出版社: Bible for Children
www.M1914.org

BFC
PO Box 3
Winnipeg, MB R3C 2G1
Canada

©2020 Bible for Children, Inc.
許可： 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

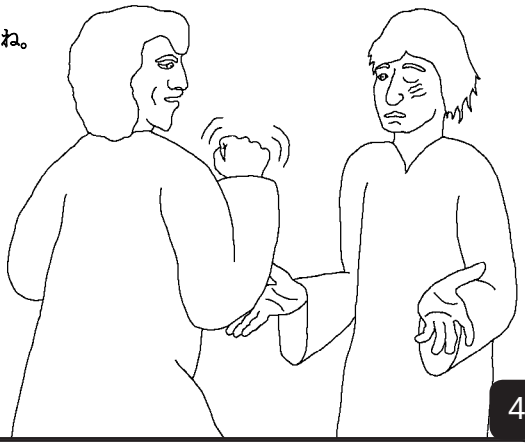
すばらしい先生は、ほかにありません。たくさんの人々が、イエスさまのおはなしを、聞きにやってきます。「あわれみぶかく、やさしく、しんせつでありなさい。」イエスさまは、こう言われました。ほかの人たちは、きらったり、キズつけたりするかもしれません。でも、神さまが、ちゃんとまもり、助けてくださるのです。



イエスさまは、たくさんのことを、おしえてくださいました。神さまの人々は、ちょうど家の中のろうそくのほのおのよう。この世界をてらしだしているのです。どんなにまっ暗のへやの中でも、もし、一本のろうそくの光があれば、どうですか。どんなにちがうことでしょう！

3

「目には、目を。歯には、歯を。」人々は、このことばを聞いて、「し返しするのはあたりまえ」ということだと、思っていました。でも、そうではありません。イエスさまは、ゆるし、しんせつにし、そして愛しなさいとおしられているのです。自分と、けんかしている人でもね。



4

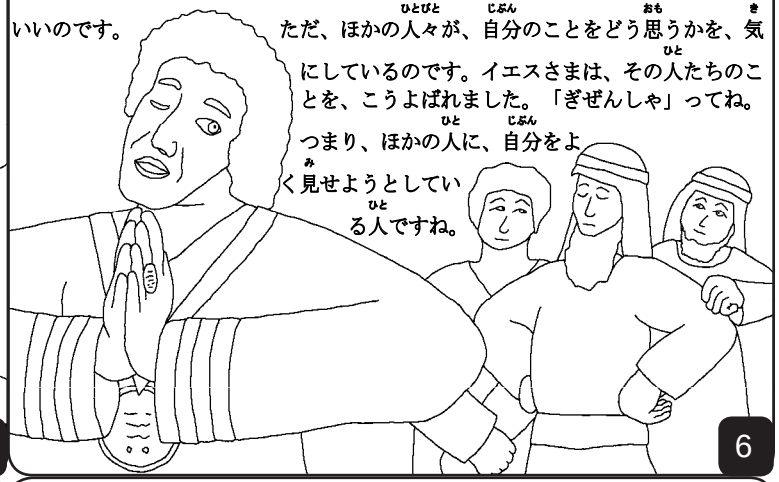
イエスさまのじだい、ある人々は、わざと、神さまを信じ、つかえているようなふりをしました。その人たちは、びんぼうな人にお金をあげるとき、だれかに大きな音で、トランペットを、ふかせました。なぜなら、みんなに、自分の良いおこないを見てもらいたいからです。

そこで、イエスさまが言われました。

「人に良いことをするときは、だれにも見られないところで、行いなさい。そうすれば、神さまが、ほめてくださるだろう。」

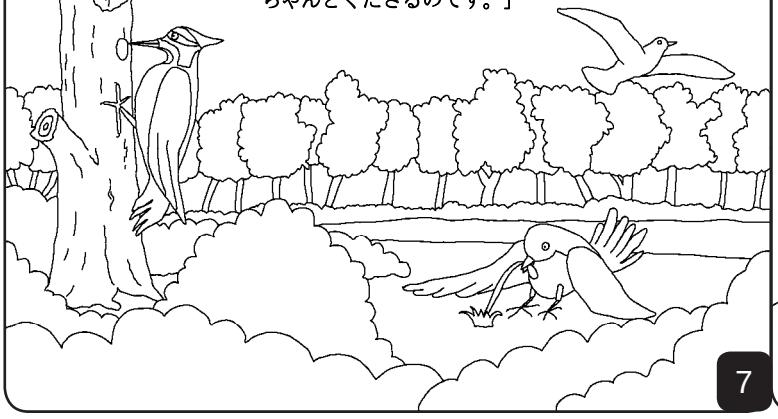
5

イエスさまは、お祈りについても、同じことをおしえられました。ある人々は、わざと、とてもにぎやかな町かどで、祈りました。なぜなら、みんなにお祈りしているところを、見てもらいたいからです。その人たちは、神さまのことは、どうでもいいのです。ただ、ほかの人々が、自分のことをどう思うかを、気にしているのです。イエスさまは、その人たちのことを、こうよばれました。「ぎぜんしゃ」ってね。つまり、ほかの人に、自分をよく見せようとしている人ですね。



6

イエスさまは、おしえられるとき、よく自然のできごとを、使いながらはなされました。たとえばね、空のとりを、ゆびさして言われましたよ。「とりを、見てごらん。あなたの天のお父さまは、とりにえさをくださっているでしょう。だから、しんぱいしないで。神さまは、もちろん、あなたがたにも、ちゃんとくださるのです。」



7

イエスさまは、つづけて言われました。「あのお金もちのソロモン王も、野にさいているユリの花みたいに、うつくしくきかざることは、できなかったでしょう。だから、もし、神さまが、野の草にきせてくださるのなら、あなたがたにも、きせてくださらないはずがないでしょう。」

8

イエスさまは、このように言って、神さまを信じることを、おしえていらっしゃいます。神さまは、わたしたちが、ひつようなものは、すべて用意してくださるのですね。

9

「もし、あなたが、兄弟のことを、わるいかわるくないかとさばくなら、それは、ちょうど、兄弟の目から、小さなおがくずを取ろうとしているようなもの。ほんとうは、自分の目の中に、ものすごく大きな木のぼうが、入っているのにね。」イエスさまは、こう言われました。たぶん、これを聞いた人々は、くすくすわらったことでしょう。

けれども、イエスさまの言われたいみを、もっとよく考えなければなりません。わたしたちは、自分のことは、気がつかないものです。

10

イエスさまは、言われました。「たすけてくださいって、神さまにおねがいしなさい。」こどもたちが「お父さん、おなかがすいたよ。パンがたべたいなあ。」と言ったとき、お父さんは、パンのかわりに、石をあげるでしょうか。いえいえ、お父さんは、とびきりおいしいパンを、くださるでしょう。神さまも、お父さんとおなじ。おねがいする人たちには、とてもよいものを、くださるのです。

11

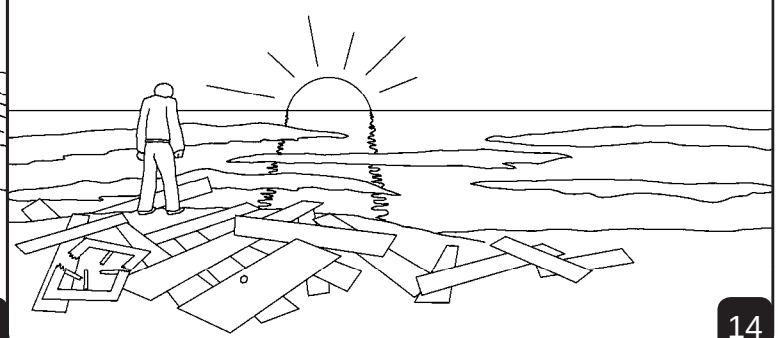
イエスさまは、ほんとうにすばらしい先生。あるとき、にせの先生について、言われました。「気をつけなさい。かれらは、ただ、ヒツジの毛皮をつけているだけ。でも、ほんとうは、オオカミ！」みなさん、よく見てごらん。にせの先生が、どのように生きているかをね。それを見れば、すぐばれてしまうのですよ。

12

あるときイエスさまは、神さまのことばにしたがう人々について、おしえてくださいました。その人たちは、ちょうど岩の上に家をたてる人のよう。ひどいあらしがやってきて、水があふれましたよ。

13

さて、家は？もちろん、だいじょうぶ。びくともしませんね。では、おろかな人が、たてた砂の上の家は、どうなったでしょうか。ひどいあらしがやってきて、びゅうびゅうと風がふきました。さて、家は？あれあれ、ばらばらですよ。なぜって、その家の土台が、よわかったからですね。イエスさまは、言われました。「神さまのことばにしたがわない人々は、ちょうど砂の上に家をたてる人のよう。」



14

イエスさまのおはなしを聞いて、人々は、ほんとうにびっくりしましたよ。
なぜって、そのようなおはなしは、いままで、
いちども聞いたことがなかったからです。
みんなは、よくわかりました。ただ、
神さまのことばを、聞いているだけじゃ、
じゅうぶんじゃないのです。
一日、一日、神さまのことばどおりに、したがっていかなければってね。

15

すばらしい先生、イエスさま

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

マタイによる福音書 5 章 — 7 章、ルカによる福音書 6 章

あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。
詩篇 119:130

16

おわり

42

60

17

この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしってほしいと、思っていらっしゃるのです。

神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しっていらっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

けれども、神さまは、あなたをとても愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。

愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみがえって、いま生きていらっしゃいます。どうか、私のこころの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書３：１６

18